

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

2034年ビジョン

富の循環を創出し、誰もが心に火を灯せる社会をつくる

EPS成長率
10%以上自己資本利益率
30%程度ノンアセット事業シェ
30%税前提利益
200億円

2 中長期の経営戦略

1. 一棟再販事業の成長

資本回転率・利益率向上、エリア拡大、アセット多様化。大阪・福岡展開やホテル等新アセット追加

3. オフィス区分事業の加速

2026年売上100億円、2028年300億円目標。営業人員戦略的シフトで成長市場シェア獲得

2. 不動産小口化事業の調整

2026年を調整局面と位置付け年間販売50億円計画。2027年以降再成長を目指す主力事業

4. 新規事業の創出と投資

不動産クラウドファンディング、私募ファンド、ホテル運営、系統用蓄電所事業を推進。2027年以降マネタイズ目指す

3 対処すべき課題

① 税制改正への対応

- 不動産小口化商品の相続税評価方法見直しに伴う市場影響を精査
- 2026年販売額減少見込みも中長期的回復・成長維持方針

② 事業ポートフォリオ最適化

- 成長市場見極めによる経営資源重点配分
- 撤退事業選別と継続的な検証

③ 人的資本と組織強化

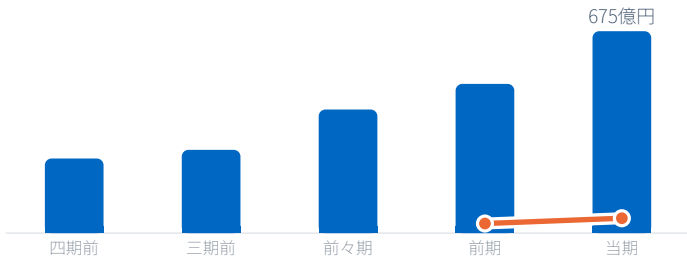
- 人事制度改定と管理職マネジメントスキル向上実施
- エンゲージメント向上と正社員離職率低下成果を継続強化

面接で使えるポイント

- 2034年税前提利益200億円、BtoCシェア40%達成へ、第2次中期経営計画で一棟再販・小口化・オフィス区分事業を戦略的…
- 創業140周年を機にADWブランド構築を進め、不動産クラウドファンディング等新規事業で成長ステージへ
- 2027年ROE13～14%以上目標を前倒し達成し、人的資本投資とブランディング強化で持続的企業価値向上実現を目指す

証券コード 2982

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
675億円営業利益率
7.4%財務健康度
50点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 61.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
859万円

不動産業内 33位/130社

平均年齢
41.6歳

不動産業内 45位/131社

平均勤続
5.0年

不動産業内 79位/131社

女性管理職
6.7%

不動産業内 59位/76社

男性育休
100.0%

不動産業内 5位/57社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)A Dワークスグループ【2982】：決算情報

